

# 愛知県(県域)

## 1 産地の概要

<対象品目>ナシ

<産地の現状・課題>

県内のナシ産地では、高収量・高品質の生産を維持するための長年の肥培管理によりリン酸、カリが過剰に蓄積した園が多く見られる。そして、最近の世界情勢の影響により肥料価格が高騰しており、肥料コストの低減が求められている。有機質資材の利用は堆肥施用が行われているものの、化学肥料の標準量施用に上乗せで堆肥施用が行われおり堆肥に含まれている肥料成分が必ずしも効率良く活用されてきたわけではない。

## 2 検討体制

<愛知県組織と関係機関等の役割>

- ・ 農業経営課(事務局)
- ・ 農業革新支援センター(事業のコーディネート、技術指導、栽培マニュアルと産地戦略の作成)
- ・ 農業総合試験場園芸研究部(試験方法に関する助言)
- ・ 普及指導センター(実証ほ調査、検討会の参加、栽培マニュアル及び産地戦略の検討)
- ・ JAあいち経済連(技術支援、検討会の参加)
- ・ JA(農業者との調整、調査補助)
- ・ 農業者(実証ほ管理、技術の検証)

## 3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学肥料 使用量の 低減	施肥	<取り入れる技術> 有機質資材の肥料的利用による化学肥料の削減
		<見込まれる効果> 基肥の化学肥料低減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
施肥	<取り入れる技術> マニュアルスプレッダー利用による有機物資材施用の軽労化
	<見込まれる効果> 施肥労力の軽労化、省力化

## 4 活動内容(予定)

<活動内容>

- ・ 基肥を菜種油かすに代替する等した実証ほを設置し、果実品質、収穫量への影響を確認
- ・ 有機物資材の投入に、トラクターへの脱着可能なマニュアルスプレッダー等を利用した場合の、省力化・軽労化の効果を実証